

# 一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/10/21現在

## 1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

|                     |  |
|---------------------|--|
| 金融商品の名称・種類          | しんきんインデックスファンド225・証券投資信託                                     |
| 組成会社（運用会社）          | しんきんアセットマネジメント投信株式会社   |
| 販売委託元               | しんきんアセットマネジメント投信株式会社   |
| 金融商品の目的・機能          | わが国の株式市場の動きと長期成長をとらえることを目標に、日経平均株価（日経225）に連動する投資成果の獲得を目指します。 |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | 中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。                        |
| パッケージ化の有無           | パッケージ化商品ではありません。   |
| クーリング・オフの有無         | クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。                       |

- （質問）
- ① この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか。
  - ② これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。
  - ③ この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。

## 2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

|              |   |
|--------------|---|
| 損失が生じるリスクの内容 | 当ファンドは、主に株式を投資対象としますので、株式の価格の下落や発行体の経営状態の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。<br>主なリスクは以下のとおりです。<br>価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク |
| 過去1年間の収益率    | 18.9%（2024年7月末現在の騰落率）   |
| 過去5年間の収益率    | 平均12.9% 最低-11.0%（2022年9月末）最高54.8%（2021年3月末）<br>（2019年8月～2024年7月の各月末における直近1年間の騰落率）                                     |

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」にそれぞれ記載しています。

- （質問）
- ④ 過去の実績で最大の値下がり幅はどのくらいですか。また、そのおそれはありますか。
  - ⑤ 日経平均株価が下がると、ファンドの価格も下がると理解しておけばよいですか。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

|                        |  |
|------------------------|--|
| 購入時に支払う費用<br>（販売手数料など） | ありません。   |
| 継続的に支払う費用<br>（信託報酬など）  | 運用管理費用（信託報酬）年率0.88%（税抜0.80%）<br>その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。 |
| 運用成果に応じた費用<br>（成功報酬など） | ありません。   |

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑥ 信託報酬とはどのように支払われていますか。  
⑦ 信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

|         |   |
|---------|---|
| 償還期限    | この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。                      |
| 解約時手数料  | この商品をお客様が換金・解約しようとする場合の手数料等は、ありません。                     |
| 解約の制限事項 | 金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込受付を中止することがあります。 |

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑧ 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。

### 5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

|     |   |
|-----|---|
| 手数料 | 当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社から年率0.495%（税抜0.45%）の手数料を頂きます。これは交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理および購入後の情報提供等の対価です。 |
|-----|---|

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

|       |   |
|-------|---|
| 租税の概要 | 分配時には配当所得として普通分配金に対して20.315%の所得税および地方税が課税されます。<br>換金(解約)時および償還時には譲渡所得として差益（譲渡益）に対して20.315%の所得税および地方税が課税されます。<br>確定拠出年金の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用に係る税制が適用されます。<br>新NISA（成長投資枠）でご利用できます。 |
|-------|---|

※ 詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用・税金」に記載しています。

## 7. 参考情報

|                       |  |
|-----------------------|--|
| インデックスの使用に係る<br>ヘッジ文言 | ①「日経平均株価（日経平均）」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、日経平均自体および日経平均を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。②「日経」および「日経平均」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て株式会社日本経済新聞社に帰属しています。③当ファンドは、委託会社の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用および受益権の取引等に関して一切の責任を負いません。④株式会社日本経済新聞社は、日経平均を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。⑤株式会社日本経済新聞社は、日経平均の構成銘柄、計算方法、その他日経平均の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。 |
|-----------------------|--|

## 8. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】

(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/uno/files/mokuromisyo.pdf>

①

※ PDF形式で掲載しています。



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/id=20>

②

※ リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。



**契約締結にあたっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。**



<質問回答例>

しんきんインデックスファンド225

|   | <質問>                                    | <回答例>   |
|---|---|---|
| ① | この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか。       | 投資信託は、数10の銘柄に分散投資していることがひとつの特徴になります。単一銘柄で、一つの買い値にしばられないことがメリットになります。                    |
| ② | これまでリスクレベルが1ランク低い商品を購入してきましたが大丈夫ですか。    | 購入のタイミングを数回に分けて、今回より価格が上下に10%程度離れたら2回目の購入を行うなども有効な方法と思います。                              |
| ③ | この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。          | たしかに、投資対象銘柄に知名度が低いものが多く含まれていますが、仕組み自体は一般的な商品と変わりありませんので、比較的多くの方にご利用いただけます。              |
| ④ | 過去の実績で最大の値下がり幅はどのくらいですか。また、そのおそれはありますか。 | 過去10年間の最大下落は年40%ですが、これは年初と年末の比較となっています。またマーケットの状況によっては、可能性は否定できないと思われています。              |
| ⑤ | 日経平均株価が下がると、ファンドの価格も下がると理解しておけばよいですか。   | 正確には、組入他対象銘柄の構成比率が異なっていますので、日経平均株価の下落幅と同じになる訳ではありません。                                   |
| ⑥ | 信託報酬とはどのように支払われていますか。                   | 毎月の基準価額は、この信託報酬の日割り分が控除されて算出されてきます。例えば1%でも、5年間保有されると5%となる点、ご注意ください。                     |
| ⑦ | 信託財産で間接的に負担する費用とは何ですか。                  | 運用期間中は運用管理費用（信託報酬）が差し引かれます。実際には日との基準価額はこの信託報酬の日割り分を控除後で算出されているため、ある一時点でまとめて差し引くことはしません。 |
| ⑧ | 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。                  | ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。                  |
| ⑨ | あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。               | お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。                         |